

2015年9月9日

各 位

会社名 日信工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 大河原 栄次
問合せ先 執行役員経理部長 小嶋 一平
(TEL 0268-24-3111 (代表))

**Autolivとの四輪車用メカトロ事業及びバネ上事業の合弁会社化に関する
契約締結のお知らせ(要約版)**

日信工業は、2015年9月9日開催の取締役会において、日信グループが営む四輪車用のブレーキ・コントロール（メカトロ）及びブレーキ・アプライ（バネ上）システム並びにそれらに関する部品の開発、設計、製造及び販売に関する事業を、Autoliv（Autoliv Inc. 及び子会社含む）との間で合弁会社化することを決議し、同決議に基づき同日付けでAutolivとの間で合弁会社化に関する契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

※詳細に関しましては、「会社分割、事業譲渡、株式譲渡等による当社の四輪車用メカトロ事業及びバネ上事業の合弁会社化に関する契約締結のお知らせ」をご覧ください。

記

1. 合弁会社設立の目的

日信工業は、世界 No.1 のブレーキシステムメーカーを目指し二輪車用ブレーキと四輪車用ブレーキの二つの事業を行ってまいりました。現在、二輪車のブレーキ事業では、油圧ブレーキシステムで世界シェア約70%を有し、ブレーキシステム全体においても世界シェア25%の立ち位置におり、今後発展する新興国への展開等により、名実ともにトップメーカーを目指してまいります。

四輪車事業での我々の目標は、統合ブレーキシステム分野での成長を続け、グローバルメーカーへの販売を拡大していくことです。この事業の潜在成長性を最大限に取り込むためには、グローバル展開と技術力強化を迅速に行う必要があると認識しております。この観点から、自動車関連の安全分野で大きな存在感を持つパートナーと組み、自動車事業を共同で展開していくことが最適であるとの結論に至りました。

合弁会社のパートナーとなるAutolivは、スウェーデンに本社を置き、2014年度連結売上高は約92億ドル、世界28カ国に80拠点、6万人超の従業員を有する世界有数の自動車用安全システムサプライヤーであります。Autolivとは、これまでESCの分野で協業を行い、中国市場向けESCの共同納入などを通じて相互理解を深めてまいりました。

今後は、当社の持つブレーキシステムの技術力・生産力に加え、Autolivが有する電子制御ユニットやレーダーセンシング技術及びグローバルメーカーへの顧客基盤を活用することで、メカトロ及びバネ上事業における更なる成長に向けたWin-Winの協力体制を築けるものと考えております。

2. 合弁会社化の概要

日信グループが営む四輪車用のメカトロ及びバネ上に関する部品の開発、設計、製造及び販売に関する事業を、Autoliv との間で合弁会社化し、日本・中国・米国を中心に展開いたします。なお、設立する合弁会社の株主は、当社グループ（持株比率 49%）及び Autoliv（持株比率 51%）となる予定です。

3. 日程

取締役会決議日：	2015年9月9日
株主総会基準日：	2015年9月30日（予定）
株主総会決議日：	2015年11月11日（予定）
クロージング日：	2016年2月1日（予定）

4. 譲渡価額の総額

合弁会社化に伴う対象事業の譲渡価額の総額は、約 332 億円を予定しております。

5. 合弁会社に譲渡する事業の経営成績

	2015年3月期
売上高	69,029 百万円

(注) 上記金額は連結会社間の内部取引控除後の金額であります。

6. 今後の見通し

合弁会社化に伴い、約 400 億円の譲渡利益（その内 51%は Autoliv への譲渡による利益、49%は日信工業が承継会社へ譲渡した資産及び負債の公正価値評価による利益）を見込んでおり、2016年3月期の通期連結業績予想につきましては修正を予定しておりますが、事業ポートフォリオの見直し等を含めて精査中であり、確定次第速やかに開示いたします。

合弁会社は、従来の主要顧客の新製品開発ニーズに迅速且つ的確に応えることにより更なる受注増加を目指すとともに、グローバルメーカーへの積極的拡販を進めることにより一層の業容拡大を図る方針です。

また、これらの合弁会社は当社グループの持分法適用会社となることから、損益及び配当金のうち当社グループ持分である 49%が今後の当社連結決算へ反映されることとなります。合弁会社化によって得られる資金はインド・Next 市場向けビジネスの拡大や Moto GP などレース活動を通じたブランド力の向上、新素材・二輪先進ブレーキ・軽量/強度アルミ技術など高付加価値商品の開発・拡販等、主に二輪事業の成長及び体質改善戦略に投入し、次の成長に向けた原資として活用する予定です。これらの成長戦略により NISSIN ブランドに一層磨きをかけ磐石な地位を確保していくとともに、更なる業容拡大と安定的収益体質の確立を目指してまいります。

以上